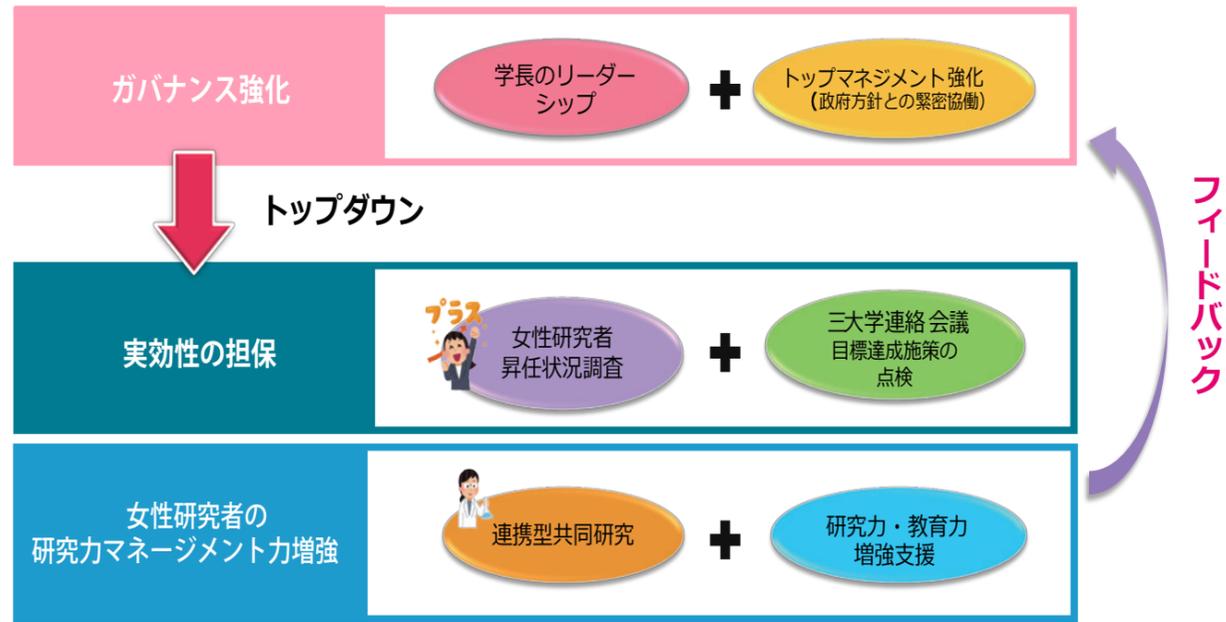
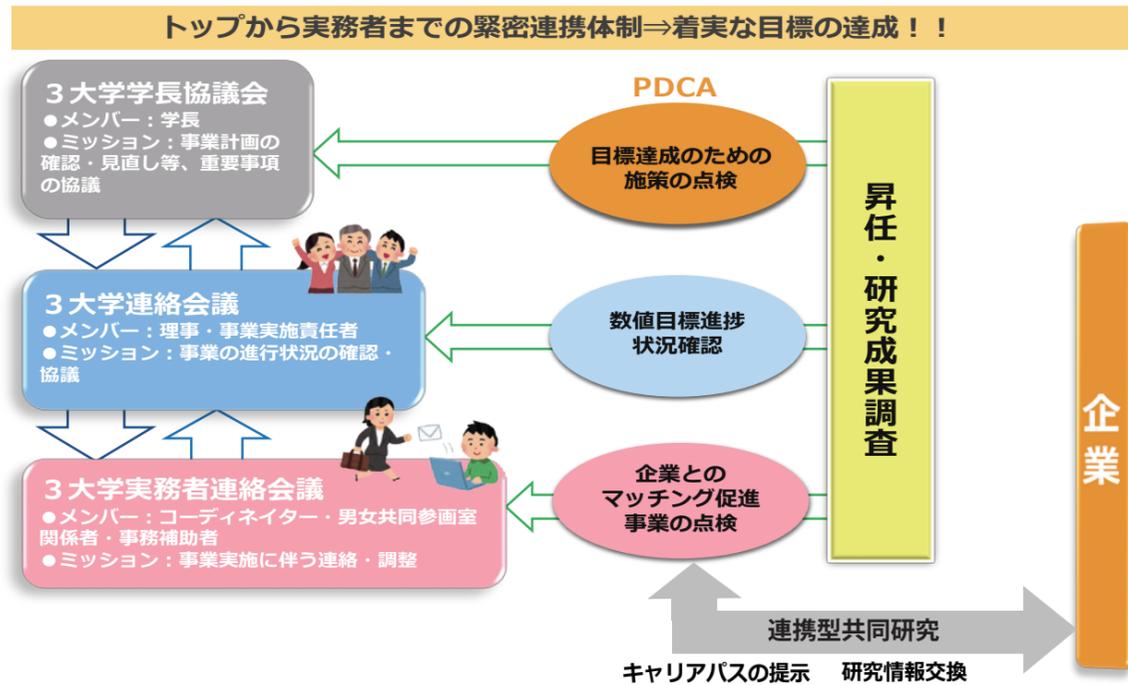


女性研究者の上位職登用システム



事業実施体制



問い合わせ

国立大学法人 神戸大学 男女共同参画推進室
〒657-8501
神戸市灘区六甲台 1-1
TEL 078-803-5017,5471
E-mail gnrl-kyodo-sankaku@office.kobe-u.ac.jp

学校法人関西学院 関西学院大学
男女共同参画推進本部事務局 (人事部人事課)
〒662-8501
兵庫県西宮市上ヶ原 1 番町 1-155
TEL0798-54-6008
E-mail danjyokiyodo-jimu@ml.kwansei.ac.jp

公立大学法人 兵庫県立大学
女性研究者支援事業 (連携型) 担当 (本部人事労政課内)
〒651-2197
神戸市西区学園西町 8-2-1
TEL 078-792-4822
E-mail women@ofc.u-hyogo.ac.jp

平成26年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業

女性研究者研究活動支援事業 (連携型)



国立大学法人
神戸大学



学校法人関西学院
関西学院大学



公立大学法人
兵庫県立大学

本事業は、文部科学省が女性研究者支援のための環境整備に取り組んでいる大学等を中心に、女性研究者の研究力向上を図る取組を連携して行う複数の大学等を支援するものです。

神戸大学、関西学院大学、兵庫県立大学の3大学は互いに連携することにより、女性研究者の研究力・マネジメント力を増強させ、女性研究者の上位職への登用を進めるものです。また、企業と連携をはかることにより、産学共同研究の促進や女子学生および女性研究者のキャリアパスの拡大を目指します。

達成目標

女性教員在籍比率

20%

外部資金獲得

20%増

女性研究者の
上位職への昇任

20%

女性採用比率

30%

企業との共同研究

20%増

連携型共同研究

● PI 経験による女性研究者の研究力・マネジメント力の増強

● PI (研究責任者) の選出

【資格】 助手、助教、講師、准教授

【条件】 連携する2または3大学と共同研究グループを作る

【支援】 初年度はスタートアップ経費を支給

研究メンター、プロモーションメンターの配置

H26年度 女性研究者 PI (5名) 決定

● 共同研究報告会



連携型共同研究のPIによる研究の成果及び進捗状況の発表会を実施する。同時に、他の共同研究や企業による研究紹介のポスター発表会も実施する

● メンター制度

● 研究メンター

「連携型共同研究」に研究面でのアドバイスを行う。

● プロモーションメンター

「理事」「学部長」「研究科長」もしくはその職位相当の人が担当し、女性研究者PIに対して、研究室運営、学部運営などのマネジメント力向上のためのアドバイスを行い、女性研究者の昇進しやすい環境を整備する。

プロモーションメンターの活動を通して女性研究者の意見等を受け止めることにより、女性研究者が昇任または上位職に就くためのシステム改革を積極的に行う。



女性研究者
上位職への昇任

連携型共同研究

キャリアパス支援

研究力
マネジメント力

教育力

ワーク・ライフ・バランス支援

ワーク・ライフ・バランス支援

● 研究支援員の配置

子育て中または介護中の女性研究者、あるいは配偶者が研究者の男性研究者に配置する。

● ベビーシッター派遣経費補助

子育て中の女性研究者及び本事業が支援対象と認める男性研究者にベビーシッター派遣費を補助する。



● 一時預かり保育室の共同利用

一時預かり保育室（はとぼっぼ六甲）を連携大学で共同利用する。

人材バンク

既設の神戸大学人材バンクを3大学連携にリニューアルし、研究中断者、ポスドクを登録し、研究支援員、育児休業・介護休業教員の代替非常勤講師、又はその他研究員として派遣する。

キャリアパス支援

● 外部資金獲得支援

各大学を会場として外部資金獲得セミナーを開催する。神戸大学学術研究推進本部が中心となって、希望者にマン・ツー・マンによる申請書作成支援を行う

● 英語のプレゼンテーション力の向上支援

専門家による英語のプレゼンテーション力強化レッスン



● キャリアカフェ

女性研究者及び学生のキャリアパス拡大

● ティーチングスキルアップセミナー

女性研究者の教育力の増強（授業の検討）

● キャリアパスショートセミナー

企業、研究所等の研究を中心とする業務の紹介を行い、女性研究者、大学院生のキャリアパスを拡大する

キックオフセミナー トップマネジメントセミナー

事業開始初年度に実施する。学長、理事及び研究科長等学内の組織運営に責任を負う立場の人々を対象に、本事業の趣旨、および大学における男女共同参画についての理解を深めることが目的である。

